

オンライン面接試験に係る注意事項等

一橋大学大学院言語社会研究科

2023年1月27日

新型コロナウイルス感染症流行の影響等により、春季の各種試験の第2次試験（口述）をオンライン面接で実施する場合の注意点をお伝えします。なお通常通り対面で口述試験が実施される場合、昨年12月1日付けHP 掲示（[修士課程入学試験](#)／[博士後期課程進学・編入学試験](#)）通り、事前に申し出があり研究科が認めた場合のみオンライン入試を可とします。

1. オンラインによる口述試験に向けて準備するもの

- (1) インターネット環境（実行速度10Mbps以上の環境を推奨します）。良好かつ安定的なネットワーク環境を整えてください。モバイル回線（携帯電話会社が提供する回線）を利用する場合は、ご自身の契約プラン、通信料制限、利用状況等を事前にご確認ください。通信時間は待機時間も含めて1時間15分程度必要となります。
- (2) ウェブカメラとマイク・スピーカーの機能が付属する、ビデオ通信が可能な機器。デスクトップパソコンまたはノートパソコンの使用を強く推奨します。タブレット等でも受験は可能ですが、大画面のものをご用意ください。Zoomの画面共有機能を使って外国語試験を実施するので、スマートフォンによる受験は原則として不可とします。
- (3) Zoomのアプリケーション。メールアドレスでZoomアカウントを作成した上で、試験当日に使用する通信機器にZoomのアプリケーションをインストールし、最新版に更新するとともに、操作方法を確認しておいてください。なお、第1部門のオンライン試験にはZoomのブレイクアウトセッションの機能を使う場合があります。
参考：Zoomのダウンロードセンター（URL：<https://zoom.us/download>）
Zoomヘルプセンター（URL：<https://support.zoom.us/hc/ja>）
- (4) 試験中に連絡を取れる固定電話、もしくは携帯電話（スマートホン含む）。
- (5) 受験票以外に本人であることを証明する顔写真入り証明書等（運転免許、パスポート等）。
- (6) 顔を確認できるだけの明るさがあり、静寂さが保たれた部屋（個室）。口述試験中の第三者の同席、ならびにバーチャル背景の使用は認めません。当日は室内の状況をカメラで確認します。

2. 禁止行為

以下に該当する行為を行った場合は、不正行為とみなします。

- 第2次試験（口述）試験に関する情報（URL、ミーティングID、パスコード等）を第三者と共有すること。
- 試験中の画面の撮影、スクリーンショット、録画、もしくは試験中の音声の録音等の行為。また、それらの画像や映像、音声の配信（同様の行為を含む）。

3. 注意事項

- (1) 試験開始時間を過ぎても指定するZoomのオンライン試験室に参加できない場合は、受験を辞退したとみなし不合格とします。
- (2) オンライン面接中は、電話（志願票に記載した連絡先）で連絡が取れる状態としてください。試験の途中でZoomの接続が切れたときは再度入室してください。問題が改善されない場合は、速やかに言語社会研究科事務室に連絡してください。こちらから電話で連絡する可能性もあります。面接の途中で接続が途切れ、時間内に再開できないと

きは、そのまま試験を終了します。その後の対応については連絡が来るまでお待ちください。

(3) 面接中、顔はよく見えるようにし、帽子やマスク、サングラス等で隠さないようにしてください。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受験できない場合は、予備日での第2次試験（口述）の実施を検討します。速やかに（遅くとも試験当日の試験開始時刻までに）メールにて言語社会研究科事務室に連絡してください。なお、予備日でも第2次試験（口述）を実施できない場合は、受験辞退とみなし不合格とします。

※上記に従わない行動その他疑わしい行動がある場合、試験が無効となる可能性があります。